

交換留学募集説明

2023年10月24日
国際教育センター



2024年7月～9月開始の交換留学：[申請締切 2023年12月8日17時](#)

募集要項は国際教育センターウェブサイトに掲載済み
申請にあたっては最新情報を必ず確認してください

交換留学とは

交換留学とは、本学に在籍したまま協定校に半年間または1年間留学することです。協定校の授業を履修し、単位を取得します。取得した単位は本学の単位として認定することができます。ほとんどの協定校では、英語で授業が開講されています。その他の言語（中国語、独語、仏語など）で授業を受けられる協定校もあります。



留学スケジュール

協定校の学期に合わせて半年または1年間。原則として学域2年次以上から留学可能



単位認定

学域生は60単位まで、大学院生は4単位まで認定可能
留年を避けたい学域生はGLTP（4年後期に留学可能）を奨励

留年をしないようI類・II類では学域3年の必修科目（実験等）について特例を新設
希望者にご相談ください



必要な語学力

あらかじめある程度の語学力が必要。英語の場合は原則CEFR B2以上（IELTS 5.5等）
中国語圏等では、語学学習のみを目的とした留学が可能な場合も

交換留学のメリット

正規授業 の履修

- 協定校の正規授業を履修できる
- 現地の学生及び留学生と一緒に受講
- 留学生対象の特別な授業がある場合も
- 単位認定制度

サポート が充実

- 留学前手続きのサポート
- 宿舍の斡旋（ない場合も）
- 現地でのオリエンテーション・交流プログラム

費用面 奨学金

- 協定校の授業料は不要
- 給付型（返還不要）奨学金を受けられる可能性

2

協定校の例（授業料相互不徴収）

詳細は募集要項を参照

国・地域	大学	国・地域	大学
アメリカ	オクラホマ大学	中国	上海交通大学
ドイツ	ブレーメン大学	中国	中国科学技術大学
スウェーデン	ブレーキング工科大学	中国	北京郵電大学
フランス	オルレアン大学工学部	台湾	淡江大学
オーストラリア	ウーロンゴン大学	台湾	国立台北大学
タイ	キングモンクト工科大学ラカバン校	韓国	昌原大学
タイ	キングモンクト工科大学トンブリ校	メキシコ	メキシコ国立工科大学

3

留学先の選び方

教育内容

授業は何語で開講されている？履修したい科目はある？

協定校の特徴

理工系大学or総合大学、国際的評価、日本人学生の多寡など

国・地域の魅力

人口、英語通用度、産業、歴史文化、治安、気候など

費用も要確認

情報収集の方法

- ✓ 学内外の説明会
- ✓ 留学関連ウェブサイト
- ✓ 留学経験者や留学生に聞く
- ✓ 留学体験談・報告書

4

どの程度の語学力が必要？

英語の場合、原則としてIELTS（アイエルツ）またはTOEFL（トーフル）のスコアが必要

最近ではIELTSを受験する学生が多い

協定校(例)	IELTS (アカデミック)	TOEFL iBT	TOEIC LR
オクラホマ大学(米国)	6.0	61	不可
ヨーロッパ協定校	5.5	一部は61 他は72以上	原則不可 (780)

※IELTS、TOEFL iBTの受験料は2.5～3万円程度と高額ですが、早めに一度受験することをおすすめします（原則として要パスポート）

5

英語の試験の概要と実施団体のサイト

■ IELTS (アカデミックモジュール)

イギリスで開発された英語 4 技能を測るテスト。

JSAF <http://www.jsaf-ieltsjapan.com/>

英検協会 <http://www.eiken.or.jp/ielts/>

バークレーハウス <https://berkeleyhouse.co.jp/ielstestcentre/>

■ TOEFL iBT

アメリカで開発された大学レベルのアカデミックな場面で必要とされる英語 4 技能を測るテスト
ETS https://www.toefl-ibt.jp/test_takers/index.html

■ TOEIC LR

オフィスや日常生活における英語によるコミュニケーション能力を測定するリスニングとリーディングのテスト

国際ビジネスコミュニケーション協会 <https://www.iibc-global.org/toeic.html>

6

交換留学の募集・選考

今回

募集時期	秋募集 (10月前後)	春募集 (4月前後) ※二次募集的な位置づけ
留学開始	翌年7～9月	翌年1～3月
締切	12月中旬頃	7月初旬頃
選考 (面接等)	1-2月頃	7-8月頃
結果通知	3月頃	9月頃

学内選考基準：学業成績・語学力・意欲等で総合的に評価

学内選考倍率は今のところあまり高くはありません。ただし第一希望に留学できない人は出てきています。第三希望まで申請することを奨励します。

7

一部の協定校を紹介します

米国 オクラホマ大学

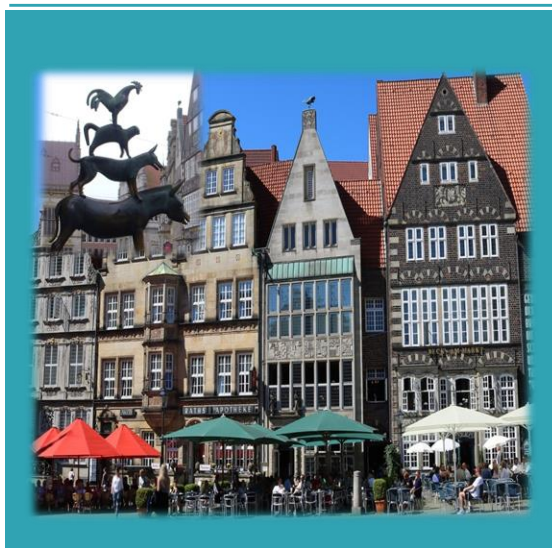


1890年創立の**州立総合研究大学**。カーネギー分類では**最上級の研究大学(R1)**として評価されています。スポーツの強豪校としても知られ、8万人以上を収容するスタジアムが置かれるなど活気に溢れるキャンパス。

所在地	オクラホマ州ノーマン
学期	秋学期 8月中旬～12月 春学期 1月～5月
言語	英語
語学力等	IELTS 6.0 TOEFL iBT 61
宿舎	キャンパス内
履修	他分野も履修可能
その他	募集枠は、各年度原則1名（半年留学の場合2名）

1月からの留学はスケジュール的に難しい

ドイツ ブレーメン大学



ドイツ北部のブレーメンに位置する**総合大学**。旧市街地には世界遺産の美しい街並が残ります。母国語はドイツ語で、授業の一部が英語で開講されています。学域生・大学院生ともに留学のしやすい協定校です。

所在地	ブレーメン
学期	冬学期 9月中旬～2月 夏学期 3月中旬～7月
言語	英語（またはドイツ語）
語学力等	IELTS 5.5他
宿舎	宿舎斡旋なし 宿舎探しのサポートあり
履修	他分野も履修可能 ドイツ語短期集中コースあり
その他	募集枠は、各年度数名

スウェーデン ブレーキング工科大学

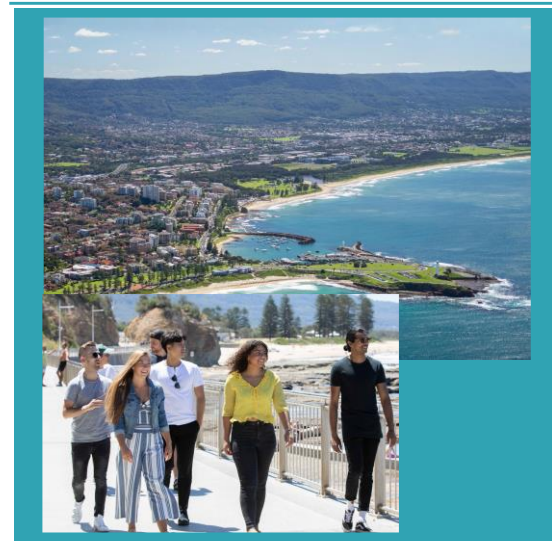


スウェーデン南部の歴史ある軍港の街カールスクローナに位置する**理工系大学**。母国語はスウェーデン語ですが、スウェーデンはヨーロッパの中でも英語通用度が非常に高い国です。**日本人が極めて少ない環境**。

所在地	カールスクローナ
学期	秋学期 9月～1月 春学期 1月～6月
言語	英語（またはスウェーデン語）
語学力等	IELTS 5.5他
宿舍	寮なし。宿舍探しのサポートあり
履修	学域3年次以上でないとは履修できない科目が多い
その他	募集枠は、各年度数名

1月からの留学はスケジュール的に難しい

オーストラリア ウーロンゴン大学



オーストラリアの最大都市シドニーから電車で1時間半程度の場所に位置する公立総合大学。海沿いの自然豊かな環境です。研究大学として評価が高く、QS世界大学ランキング2023で185位。

所在地	ウーロンゴン
学期	秋学期 2月20日前後～6月 春学期 7月～11月
言語	英語
語学力等	IELTS 6.0 (RW6.0 LS 5.0) 他 GPA要件あり
宿舍	寮あり
履修	他分野の履修可能。
その他	募集枠は、各年度1名

7月からの留学はスケジュール的に難しい

台湾 淡江大学



台湾で最も古い私立大学。総合大学で、国際化に積極的な大学。本学との交流も非常に活発な協定校です。

所在地	淡水
学期	秋学期 9月～1月 春学期 2月～6月 <small>例年2月20日前後から授業開始</small>
言語	中国語または英語
語学力等	HSK 3級（中国語の場合） TOEFL iBT 61程度 (語学力要件については応相談) GPA要件(2.0/4.0満点)
宿舍	学生寮あり
履修	他分野の履修可能。中国語レベルに応じた中国語授業も履修可能
その他	募集枠は、各年度数名

費用はどれくらい？（特に記載のない場合、1年間の費用）

本学授業料	通常どおり（ 留学中の休学不可 ）
往復航空券	10～30万円程度
ビザ申請代	～数万円
海外旅行保険	約15万円（原則として本学指定の保険） ※米・独など一部の国ではさらに現地保険約10万円
宿舍費	月額3～7万円程度
食費	月額数万円程度（自炊の場合）
教科書代	～数万円
交通費	宿舍の場所による
学生サービス費	アメリカ、ドイツなど一部の国で必要。8万円程度

ビザ申請時には、**銀行残高証明**や奨学金証明書などが必要です

主な奨学金

<給付型（返還不要）>

奨学金の状況は毎年度変わりますが、
2018年度以降、成績要件を満たす希望
学生全員が本奨学金を受給しています

■ JASSO海外留学支援制度奨学金

月額 6 ～ 8 万円 + 経済的困窮者には別途渡航支援金

成績要件：前年度GPA2.30以上（3点満点 小数点第3位を四捨五入）
{(秀の単位数×3)+(優の単位数×3)+(良の単位数×2)+(可の単位数×1)+(不可の単位数×0)} ÷ 総登録単位数

詳細はこちら（国際課） http://kokusai.office.uec.ac.jp/www/jasso_sesp/top.html

■ UEC基金による助成（JASSO奨学金対象外の場合）

■ 業務スーパージャパンドリーム財団、トビタテ留学JAPAN等

14

「志望理由書」について

指定された文字数を守ること。

箇条書き不可。段落を作って論理的に書くこと。

「留学の動機・目的（学修・活動計画含む）、留学先での抱負、留学経験を将来どのように生かしたいか」についてなるべく具体的に書くこと。

専門系の教員が面接を行います。自分の専門分野の勉学と結び付けて書くようにしましょう（留学先で履修したい授業のこと、留学経験を本学での研究にどう生かしたいかなど）。

<http://www.fedu.uec.ac.jp/index.html.jp>

15

「履修計画」について

あくまで申請時時点で、履修を希望する科目を書きます。
履修する授業数は、通常は **1 学期(半年)** に **5 科目程度** です。1 科目につき週に 2 回以上開講されることが一般的です。

協定校のウェブサイトには交換留学の情報がまとめられています(募集要項の協定校一覧を参照のこと。または、“大学名+exchange”等で検索)。その中に、交換留学生在が履修可能な Course List (授業科目リスト) が掲載されています。科目によっては、前もって履修が必要な科目 (Prerequisite) が指定されていることがありますのでよく確認しましょう。

専門科目、一般教養科目の他、交換留学生を対象とした語学の授業などが設けられていることもあります。

※授業科目の探し方がわからない場合は、お問合せください

実際に履修する授業の選択は、交換留学の可否が決定した後に行います (多くの協定校では現地に到着してから決めることとなりますが、一部の協定校は事前に選択します)

16

留学した学生の履修科目例 (参考)

- 1 学期あたり 4 ~ 5 科目程度が標準
- 1 科目あたり週に 2 ~ 3 回程度授業があることが多い

オクラホマ大学 (米国)
II 類セキュリティ情報学 学域 3 年 1 年間

English for exchange student
Programming for meteorology
Programming with Python
Volcano and Earthquakes
Data Structure
Programming Structures and Abstractions
Operating system
Global Environmental Change

ブレーキング工科大学 (スウェーデン)
III 類機械システム 学域 3 年 1 年間

Introduction Swedish level
Differential Equation with Lie Group Analysis
Product Service System Design Research Method
Research Methods and design
Structural Analysis
Industrial Marketing Theory and Practice
Computational Engineering
Mathematical Statistics

17

留学した学生の履修科目例（参考）

ブレーメン大学（ドイツ）
II先端ロボティクス 学域3年 1年間

Intensive German course
Internet of Things
3D Modelling with FabLab Technologies
Machine Learning Autonomous Robots
International Business Environment
Who wants to live forever? Digital Death,
Mourning, and Remembrance
Tourism, Development, and Sustainability
Key Moments in the Linguistic History of the
English-Speaking World
Filmmaking
Tourism and Transnational Film

ブレーキング工科大学（スウェーデン）
学域4年 半年間

Applied Artificial Intelligence
Applied programming in Python
Applied Cloud Computing and Big Data
Mobile Application Development

18

英語の試験の概要と実施団体のサイト

■ IELTS（アカデミックモジュール）

イギリスで開発された英語4技能を測るテスト。

JSAF <http://www.jsaf-ieltsjapan.com/>

英検協会 <http://www.eiken.or.jp/ielts/>

バークレーハウス <https://berkeleyhouse.co.jp/ielstestcentre/>

■ TOEFL iBT

アメリカで開発された大学レベルのアカデミックな場面で必要とされる英語4技能を測るテスト

ETS https://www.toefl-ibt.jp/test_takers/index.html

■ TOEIC LR

オフィスや日常生活における英語によるコミュニケーション能力を測定するリスニングとリーディングのテスト

国際ビジネスコミュニケーション協会 <https://www.iibc-global.org/toeic.html>

19

情報収集に便利なサイト

JASSO海外留学支援サイト（国別留学情報他）
http://ryugaku.jasso.go.jp/oversea_info/

トビタテ！留学JAPANサイト（奨学金情報の他、留学体験などが豊富）
<https://tobitate.mext.go.jp/univ/>

外務省海外安全ホームページ（国別情報。特に治安や生活面）
<http://www.anzen.mofa.go.jp/>

日米教育委員会 Education USA
<https://www.fulbright.jp/study/>

駐日欧州連合代表部
https://eeas.europa.eu/delegations/japan_ja

ドイツ学術交流会(DAAD日本)
<https://www.daad.jp/ja/>

電気通信大学国際教育センター
<http://www.fedu.uec.ac.jp/studyabroad/>

電気通信大学国際課（海外旅行保険、JASSO奨学金）
<http://kokusai.office.uec.ac.jp/www/support/top.html>
http://kokusai.office.uec.ac.jp/www/jasso_sesp/top.html

20



交換留学Q&A

語学力のスコアはいつまでに必要ですか

原則として学内申請時まで必要です。学内申請時までには一度は受験し、スコアを得ておいてください。

学内申請時までには所定のスコアが取れなかった場合であっても、協定校への推薦期日までに取得できる見込みがあれば、ひとまず学内申請は可能です。その場合は、あらかじめご相談ください。ただし、書類選考で不合格になる可能性もあります。

ごく一部の協定校では、語学学習のみを目的とした留学が可能です。その場合は語学力要件は特にない場合もあります（中国・韓国など）。

22

いつから留学する？

原則として留学開始時に学域2年次以上

秋募集（今回）

- ・ 留学開始時期は9月前後が一般的
学域3年・修士1年の後期から留学する学生が多い
学域2年の後期からの留学もしやすい

春募集（次回）

- ・ 一部の協定校は2月下旬～3月（本学の春休み）から留学可能
（例：ドイツ プレーメン、オーストラリア ウーロンゴン、中国・台湾の一部など）
秋募集で定員を満した協定校については、募集は行いません

大学院受験、就職活動、研究室配属等にも留意すること。学域3年後期から留学する場合、研究室配属の手続きは帰国後に行うことが多いです（あらかじめ類の担当者に確認すること）。

23

留年はどうしてもしたくないのですが（学域生）

学士・修士一貫のGLTP（UECグローバルリーダー育成プログラム）への参加をおすすめします。2年次に申請します。本プログラムでは、4年前期に卒業研究が終了し、4年後期の半年間を使って留学することが可能です。

I類・II類では3年次の実験等の必修科目（履修しないと卒研着手ができない科目）について特例が設けられました。留学前に類の教員との入念な相談が必要。4年次での授業履修の負担が大きくなる可能性があります。

4年次前期の半年間の留学であれば、留年を避けることが可能かもしれません。指導教員の先生ともよく相談してみてください。

- <https://www.uec.ac.jp/campus/academic/global-leader.html>

24

研究はできますか？

交換留学は、原則として協定校の授業を履修する制度です。授業履修と並行して研究をすることや、研究のみを行うことは例外的です。

研究のみを希望する場合は、協定校にこだわらず、まずは指導教員に留学先をアレンジしていただけるか相談してみてください。

本学の国際インターンシップ制度で研究留学ができる可能性もあります。
（担当：インターンシップ推進室）

例外的ではありますが、交換留学でも研究ができる場合もありますので、上記の方法で留学先が見つからない場合はご相談ください。

25

単位認定はどのようにされますか

協定校で取得した単位は、**学域は60単位、大学院は4単位**まで本学の単位として認定可能（申請、審査は帰国後）。本学に該当科目がない場合は、協定校の科目名で認定することも可能です。

原則として、単位認定の審査結果は、学生が申請をした学期の、**次の学期末**に出ます。なお、**協定校の単位数と本学で認定される単位数は異なる場合があります。**

単位認定に必要な資料

- ・シラバス(授業内容と時間数が記載されたもの)
- ・成績証明書

26

持病があるのですが、留学できますか

早めにかかりつけ医等に相談していただくことをおすすめします。

個別に状況を伺ったり、医師の診断書を提出していただくことがあります。

持病・既往症の治療は海外旅行保険の補償対象外です。

27

GPA要件について

一部の協定校では、GPAの基準が設けられています。GPAは下記の換算で認められる可能性があります。

日本の大学		海外の大学
S秀	4	→ 4
A優	3	→ 4
B良	2	→ 3
C可	1	→ 2
F不可	0	→ 0

海外の大学院に進学する場合も、学部のGPAは重要。
左の換算で認められる可能性があります

参考：WES (World Education Services)

28

留学相談

国際教育センター・国際課：abroad@fedu.uec.ac.jp
(希望の日時をいくつかメールで送ってください)

今回申請予定の学生は早めにご連絡ください。
交換留学の報告書の閲覧や、留学した学生の紹介も可能

最新情報は
国際教育センターウェブサイトを参照のこと



今回の交換留学申請締切：12月8日17:00

29